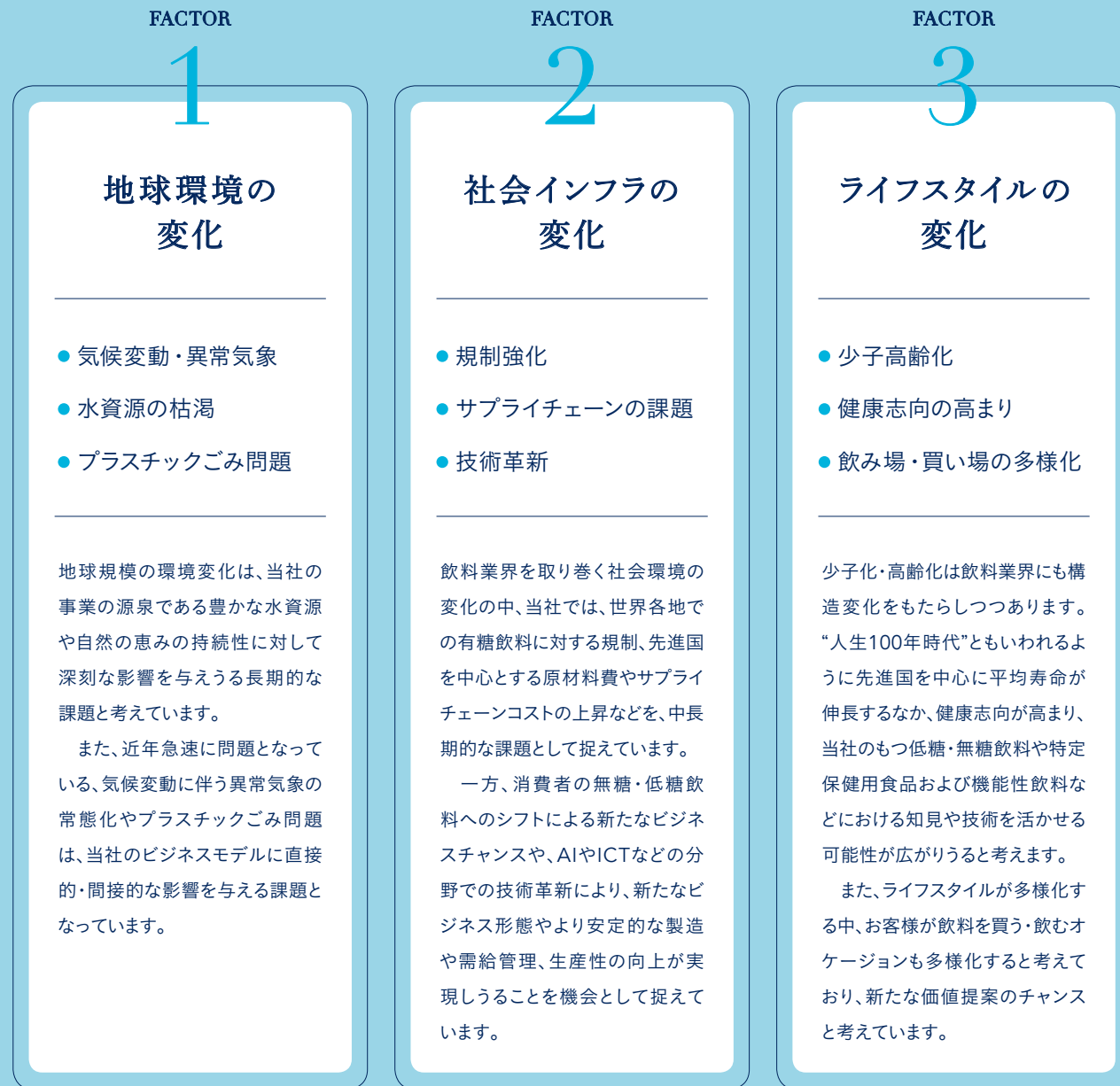


## 企業活動への影響が予測される要因

当社では、自社を取り巻く外部環境を踏まえ、主な「ポジティブインパクト」と「ネガティブインパクト」を以下のように想定しております。



## マテリアリティ(重要テーマ)の明確化

サントリー食品インターナショナル(SBF)は今後のサステナビリティ活動における重点領域をより明確化させるため、「持続可能な開発目標(SDGs※)」の観点より、重要課題分析を実施しました。

SDGsを踏まえたグローバルトレンドを基盤とし、投資家をはじめとするSBFグループのステークホルダーにとっての重要性と、中長期経営戦略における機会とリスクの観点から分析を実施、第三者機関による評価・検証を経て、SDGsの17目標のうち、目標6「水・衛生」、目標3「健康・福祉」、目標8「働きがい・経済成長」、目標12「責任ある生産・消費」、目標13「気候変動対策」の5つを重要度の高い取り組み目標(課題)とし、今後活動を深化させてまいります。

その中でも特に、「水と生きる」を掲げる企業として、社会にとっても、私たちの事業活動にとっても必要不可欠である「水」を守ることが最重要テーマであると認識し、引き続きグループ一丸となって水への取り組みに注力していきます。

## 重要課題に対するSBFグループの活動

「水」を中心とした重要課題に対しては、SDGsの169のターゲットを参照しながら、バリューチェーン全体で取り組む認識のもとで検討を進めます。今後は以下を中心とした活動を強化していきます。

重要課題	取り組みキーワード	強化していく活動例	
6 安全な水とトイレを世界中に	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水使用効率の改善、持続可能な採水、水不足の対処</li> <li>● 汚染の減少、未処理の排水の削減、水質改善</li> <li>● 森林等の水に関連する生態系の保護及び回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拠点を中心とした「水の3R」</li> <li>水源保全における地域社会との協働</li> </ul>	p48 p49
3 すべての人に健康と福祉を	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様ニーズにあった“ナチュラル&amp;ヘルシー”な商品ラインナップ拡充</li> <li>● 健康リスクの早期警告及び緩和能力を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ナチュラル&amp;ヘルシー”ポートフォリオの拡充</li> </ul>	p52
8 働きがいも経済成長も	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材の多様化や技術革新を通じた経済成長</li> <li>● 地域を超えた人材開発</li> <li>● 柔軟な働き方の推進による生産性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアディベロップメント、ダイバーシティ経営の推進</li> </ul>	p53
12 つくる責任 つかう責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持続可能な管理、効率的な利用促進</li> <li>● 持続可能な開発、自然と調和したライフスタイルに関する情報発信と意識づけ</li> <li>● 食品ロス減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2R+B」戦略に基づくペットボトル容器開発</li> <li>CSR調達</li> <li>廃棄物削減、再利用</li> </ul>	p51
13 気候変動に具体的な対策を	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動対策の戦略・計画化</li> <li>● 気候変動対策に関する教育・啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリューチェーンでのCO<sub>2</sub>排出量削減</li> </ul>	p50

## 重要課題マトリックス



※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに全世界が取り組むべき目標(Sustainable Development Goals)のことです。

## SBFグループにとっての重要テーマ

